(3)成果の公表(活動発表・論文執筆等)

研究成果は学生が卒業論文にまとめ、教員は学内研究発表会で報告を行った。さらに、活動の成果をおにぎりレシピ集としてまとめた。

10.「ヒカルの碁(子ども囲碁教室)」及び「中南信地区団体戦親睦囲碁大祭」の開催

名誉学長　住吉　廣行

(1)活動計画

ヒカルの碁に始まる囲碁ブームは、AIの進展により再び脚光を浴びている。子ども達にとっては柔らかい頭脳を活性化させると共に礼儀作法やルール遵守を身に付ける効果もある。地域で学ぶ子ども達を対象として、プロ棋士の指導を含め棋力向上を目的とした囲碁教室を開催する。また地域の子どもを指導する大人の棋力向上と、高齢者の健康維持を目的とした団体戦を並行して実施する。

(2)活動内容

全県的に中止が相次いでいた各種囲碁大会であったが、本学で開催された上記大会は、コロナ禍が一時的に収まっていた合間を縫って、奇跡的に行うことができた。しかし警戒感は高く、通常行われていた時の参加グループ、参加者に比べ半数程度になってしまった。それでも、地域における囲碁の普及や棋力の向上を図る、プロ棋士を招いての子ども教室の開催や年齢の枠を越えての老若男女の交流を目指す団体戦の開催は、一つの光明を与えるものになった。

(3)活動の成果

1チーム3名からなる団体戦に26チーム78名が参加、ヒカルの碁には17名が参加した。これは通常時の約半数の参加にとどまったとは言え、久しぶりの大会に囲碁愛好家には大いに喜ばれた。囲碁の普及、棋力向上に尽力する松本大学は、すでに日本棋院からその功績に対し表彰されており、今回もその延長線上に位置づけられた成果だったと言える。特にヒカルの碁に参加した少年少女や団体戦に出場した子ども達は、プロ棋士の指導碁を受けることが出来たため、同伴した保護者からも高く評価していただいた。囲碁愛好家の中での松本大学に対する評価や今後の大会継続への期待も高まったと思われる。また本学学生の大会準備への支援もあり、円滑な大会運営ができており、この点でも参加者や棋院関係者から高い評価を受けている。

(4)成果の公表

名誉学長の住吉廣行が投稿した記事が「信州囲碁新報」(2022年4月1日号)に掲載された。

(3) 第232号〈毎10、1、4、7月発行〉 信州囲碁新報 2022年(令和4年)4月1日(金曜日)発行

第28回中南信親睦囲碁大祭

写真は市民タイムス提供

「ヒカルの碁」大会の選手たちもマスク対局

年末打ち納めの囲碁大会 2年ぶりに開催される

松本大学名誉学長　住吉廣行

【2年ぶりの大会】

年末恒例の中南信地区団体戦「親睦囲碁大祭」（第28回）と松本大学「ヒカルの碁」少年少女囲碁大会（第18回）が昨年12月19日、松本市の松本大学5号館で開催されました。前年の第27回大祭と第17回ヒカルの碁はコロナ禍で開催を断念しましたが、今回もその影響が残っていたためか、例年の約半数の参加にとどまりました。

団体戦は参加26組を1チーム3人の合計段位数に従ってA、B2クラスに、ヒカルの碁は参加17人を棋力別に3クラスに分けて行われました。

【地区別の参加状況】

参加チームの地区別の内訳は、団体戦は松本市11、塩尻市6、安曇野市4、伊那市3、大町市2、ヒカルの碁は松本市6、安曇野市4、大町市2、伊那市2、駒ケ根市2、須坂市1となっています。

【参加者の年齢】

囲碁は年齢を問わず、同じルールで勝負ができる希有のゲームです。今回の参加者では、塩尻1組の相澤壽恵男さんが96歳、ヒカルの碁の丹野結衣さんが6歳と、両者の対局こそありませんでしたが、その差じつに90年でした。

【団体戦の模様】

Aクラスは若手中心の「よねけんグループ」からの参加4組（2、4、5位に入った）、加藤遼さん率いる「カトちゃんペッ！」、北澤明良大君を主将とする「大町A」などが軸となって熱戦が繰り広げられました。

優勝を決める戦いでは、終盤から時計を置いての接戦となりましたが、「大町A」の中村三千雄さんが「カトちゃんペッ！」の倉科陽子さんを制しました。

Bクラスでは変則スイス方式で、塩尻勢が奮闘し、女性3人で構成された塩尻6組も見事2位に入賞しました。

【ヒカルの碁の様子】

Aクラス5人は総当たり戦、Bクラス6人とCクラス6人は変則スイス方式で行われました。こちらは日本棋院中信支部長の峯岸芳夫さんの進行に、塩尻支部の関沢靖子さん、伊那市で子どもたちを教えている中村功さんが支援に入り、円滑な運営ができました。各クラスの入賞者は対戦結果を参照ください。

参加者全員が、日本棋院中部総本部からお越しの加藤祐輝七段の指導碁を受けました。加藤先生の評では、「どの子も攻守それぞれにポイントを理解し、無理のない流れで打てていた」と、お褒めの言葉をいただきました。次回は実力をかなり上げて戻ってきてくれることを期待したいと思います。

【おわりに】

最後に、今回も松本大学からの多大な支援と、会場設営については女子ソフトボール部の活躍があったことを付け加えておきます。

【対戦結果】

団体戦

Aクラス
- 優勝　大町A
  - 北澤明良大七段
  - 松本　宏七段
  - 中村三千雄六段
  - よねけんピクトグラム
- 準優勝
  - 武林　俊之七段
  - 山崎　克彦六段
  - 小野寺実結四段
  - カトちゃんペッ！
- 3位
  - 加藤　遼七段
  - 小林　博巳六段
  - 倉科　陽子六段

Bクラス
- 優勝　塩尻5組
  - 守屋喜久男二段
  - 鈴木　金男二段
  - 中原　邦彦二段
- 準優勝
  - 塩尻6組
  - 東野真美子初段
  - 大石あさ子初段
  - 大月　時子1級

ヒカルの碁

Aクラス
- 優勝　玉井　颯太五段（大町市仁科台中1年）
- 準優勝　村上　煌唱二段（大町東小5年）

Bクラス
- 優勝　木下　武蔵5級（駒ケ根市中沢小6年）
- 準優勝　平林　夏吐5級（松商学園高1年）

Cクラス
- 優勝　木下しなの17級（駒ケ根市中沢小3年）
- 準優勝　相澤　けい17級（松商学園高1年）